



デバイス実行コンフィギュレーションの変更

・ [デバイス実行コンフィギュレーションの変更 \(1 ページ\)](#)

デバイス実行コンフィギュレーションの変更

このアラームは、望ましくない可能性があるデバイス設定の変更をモニターします。保存されているハッシュとシステムで報告されたハッシュの一致状態が Crosswork Trust Insights によってチェックされます。ハッシュが一致しない場合、デバイス設定が変更されています。

始める前に

デバイスでハッシュ設定の収集を [有効にする](#) 必要があります ([デバイス (Devices)] > [device-name] > [編集 (Edit)])。

- ステップ 1 メインウィンドウで、 > [設定 (Configure)] > [ポリシー (Policies)] の順にクリックします。
- ステップ 2 [ポリシーを追加 (Add Policy)] をクリックします。
- ステップ 3 [名前 (Name)] フィールドでポリシー名を入力します。
- ステップ 4 [トリガー (Triggers)] で、[ルールの追加 (Add Rules)] をクリックします。
- ステップ 5 [デバイス実行コンフィギュレーションの変更 (Device Running Configuration Change)] をクリックします。
- ステップ 6 [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 7 デフォルトでは、ルールが有効になっています。ルールをまだ使用しない場合は、スイッチを [無効 (DISABLED)] に切り替えます。
- ステップ 8 [重大度 (Severity)] ドロップダウンリストで、このアラームに定義する重大度を選択します。
- ステップ 9 [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 10 その他の必要な設定を行い、[保存 (Save)] をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。